

令和6年度山形県食品安全モニター及び適正表示ボランティア活動実績

令和6年7月より、食品安全モニター20名、適正表示ボランティア21名が活動を行い、県内の食品販売店の表示の状況についてモニタリングしていただきました。8月間の活動の実績は次のとおりです。

(参考) 令和6年度食品安全モニター 委嘱者数 20名
令和6年度適正表示ボランティア 登録者数 21名
委嘱期間 令和6年7月から令和7年2月まで

報告月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
うちモニター		20	20	20	20	20	20	20	20	160名
うちボランティア		0	1	0	0	0	0	0	0	1名
訪問店舗数		65	67	68	65	68	66	65	66	530舗
指摘店舗数		8	4	10	6	3	6	5	3	45店舗
指摘品目数		8	7	14	7	3	8	5	6	58品目
指摘品目の 内 訳	農産物	6	3	11	5	3	4	1	3	36品目
	畜産物	0	0	0	1	0	1	0	0	2品目
	水産物	2	1	0	0	0	0	0	0	3品目
	その他	0	3	3	1	0	3	4	3	17品目
不適正表示確認店舗数		1	2	2	0	0	1	2	1	9店舗
不適正表示確認品目数		1	2	3	0	0	1	2	1	10品目

不適正表示確認店舗数………県がモニター及びボランティアからの報告を受けて店舗を訪問した際に、報告どおりの不適正表示が確認された店舗の件数
不適正表示確認品目数………報告どおりの不適正表示が確認された食品の件数

◆モニター及びボランティアからの報告に基づき指導を行った主な事例

モニター及びボランティアからの毎月の報告に対し調査を行ったところ、指摘どおりの不適正表示が9店舗で10品目確認され、適正な表示を行うよう指導しました。
なお、主な事例は次のようなものでした。

- ・土付きごぼうのPOPと商品の原産地の表示が異なっていたため、適正に表示するよう指導した。
- ・白菜漬けの名称・内容量・原材料に誤りがあったため、適正に表示するよう指導した。
- ・レモンの原産地表示の記載がなかったため、適正に表示するよう指導した。